

令和5年大井町議会第3回定例会

一般質問書

令和5年9月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について ・令和5年度ビッグレスキューかながわについて 	山崎真弘	50	1
2	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者、視覚障がい者による情報の取得、利用、意思疎通に係る施策の更なる推進について 	重田有紀	60	2
3	<ul style="list-style-type: none"> ・大井町の地域防災への取組について 	和田紀昭	50	3
4	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援の更なる充実について ・選挙における投票率向上の取組等について 	清水亜樹	60	4
5	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地対策について ・「おおいゆめバス」及び「特バス」の現状と見直しについて ・野生鳥獣の保護に関する対応について 	鈴木磯美	60	5
6	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業の改善について ・マイナンバーカードのトラブル対応について 	大石 舞	60	6
7	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市構想に対する町の対応状況について ・教育現場においてICTの利活用について 	黒岩陣太郎	50	7
8	<ul style="list-style-type: none"> ・誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について ・こども家庭庁創設に伴う子育て支援の拡充について 	伊藤奈穂子	60	8

質問者	通告1番 5番 山崎 真弘 議員	通告時間 50分 答弁者 町 長
質問事項	1 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について 2 令和5年度ビッグレスキューかながわについて	
要 旨	<p>1 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が本年度で3年を向かえる。高齢者の保健福祉に関する施策を総合的に推進してきたと考えるが、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、認知症高齢者、高齢者世帯及び単身世帯の増加が想定され、介護サービス需要や在宅介護の増加も考えられる。本計画における現状と課題について伺う。</p> <p>(1) 本計画における現状と課題は。 (2) 家族介護支援の現状と今後の方針は。 (3) 次期計画の主な施策は。</p> <p>2 令和5年10月に、巨大地震発生による甚大な被害を想定し、神奈川県・大井町合同総合防災訓練がビオトピア及び大井町保健福祉センターを会場として開催される。</p> <p>地域医療及び災害医療を支えている医療関係機関をはじめとして、県・町の防災関係機関とも連携し、実践的な災害医療における体制が望まれると考えるが、ビッグレスキューかながわにおける本町の対応と、防災訓練構想について伺う。</p> <p>(1) 訓練における本町の対応は。 (2) 訓練における全体の構想は。 (3) 訓練開催における課題は。</p>	

質問者	通告2番	通告時間 60分
	3番 重田 有紀 議員	答弁者 町 長
質問事項	聴覚障がい者、視覚障がい者による情報の取得、利用、意思疎通に係る施策の更なる推進について	
要 旨	<p>人権とは、すべての人が生まれながらに持っている不可侵の権利である。地域社会のあらゆる場面において、生命、個性、一人ひとりの人権が尊重され、自身の権利を主張することが難しい人でも安心して暮らせるようにと、本町の障がい者計画ではうたわれている。令和4年度には「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が施行され、障がい者があらゆる分野の活動に参加するためには、情報の取得や円滑な意思疎通が極めて重要であると示された。これらのことを踏まえ、以下のとおり伺う。</p> <p>1 聴覚障がい者支援について</p> <p>(1) 緊急通報時手話通訳者派遣事業の進展は。</p> <p>(2) 手話通訳者窓口設置の考えは。</p> <p>(3) 「聴覚障害者等のための意思疎通支援事業実施要綱」の見直しは。</p> <p>2 視覚障がい者支援について</p> <p>(1) 行政から情報発信の配慮の状況は。</p> <p>(2) 同行援護（ガイドヘルパー）の利用状況は。</p> <p>(3) 代筆・代読支援の導入の考えは。</p>	

質問者	通告 3 番 4 番 和田 紀昭 議員	通告時間 50 分 答弁者 町 長
質問事項	大井町の地域防災への取組について	
要 旨	<p>近年、自然災害が猛威をふるい、先月も 2 つの台風の被害は甚大なものであった。また台風だけでなく、南海トラフ地震、断層地震の脅威にもさらされている。こうした災害に対し、町ではこれらに備えた防災計画が必要である。大井町では災害に強い町づくりを進めるとともに、町民の生命、身体、財産を災害から守ることを目的として、令和 5 年 3 月に大井町地域防災計画が策定された。この計画は、災害対策基本法第 4 2 条の規定に基づき災害予防、災害応急対策及び復旧に関する対策全般を定めたものである。この計画の推進と現在の町の課題について以下の 6 項目を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町での防災訓練はどのように行われたか。 2 町行政と自治会の防災備蓄倉庫を活用した、合同訓練等が必要であると考えが町の見解は。 3 馬場地区の町道 1 4 号線が度々溢水している。又、西大井地区の町道 1 1 号線も冠水する事例がある。町の治水対策はどのように行われているか。 4 早急に福祉避難所設置が必要であると考えが町の見解と進捗状況は。 5 災害時での安心メール、LINE 公式アプリの活用法と今後の課題は。 6 防災計画の中で役割が期待されている消防団の、人員不足が懸念されているが今後の対応は。 	

質問者	通告4番 12番 清水 亜樹 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長 選挙管理委員会委員長
質問事項	1 子ども・子育て支援の更なる充実について 2 選挙における投票率向上の取組等について	
要旨	<p>1 国は本年4月に、こどもまんなか社会の実現を目指すとして、こども家庭庁を設置した。今後、町においても子ども・子育てへの更なる取組が求められる。そこで以下のことを伺う。</p> <p>(1) 本年4月に、こども家庭庁が設置され、またこども基本法が施行されたが、国の施策をどのように捉えているのか。また今後の施策と事務等への影響は。</p> <p>(2) 町では現在、子ども・子育て施策を進める上で、関係者等を集めた会議をどのように行なっているのか。</p> <p>(3) 児童コミュニティクラブの現在の運営状況と課題は。</p> <p>(4) 令和3年度から新生児ゆめおおいギフト事業を開始されたが、事業の効果と評価は。</p> <p>(5) 町長は、学校給食費を段階的に負担軽減し、完全無料化を目指すとしているが、その計画は。</p> <p>2 昨年12月の町長選挙では38.75%で、本年4月の知事選挙は28.98%と投票率の低い状況となっている。そこで以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 投票率が低迷している状況をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 投票率を向上させるための取組は。</p> <p>(3) 高齢者や障がい者が投票しやすい配慮はされているか。</p>	

質問者	通告5番 8番 鈴木 磯美 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 荒廃農地対策について 2 「おおいゆめバス」及び「特バス」の現状と見直しについて 3 野生鳥獣の保護に関する対応について	
要旨	<p>1 農業における担い手の減少や高齢化に伴い、荒廃農地を多く見かけるようになったが、町の対策について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 荒廃農地の現状と把握方法は。</p> <p>(2) 課題と町が考えている対応策は。</p> <p>2 町民等の移動手段として本格運行されている「おおいゆめバス」、そして中学生の遠隔地からの移動手段として運行している「特バス」について利便性を向上すべきと考え、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 「おおいゆめバス」の利用状況は。また、運行方法を見直す考えは。</p> <p>(2) 「特バス」の利用状況は。また、移動支援の方法を見直す考えは。</p> <p>3 令和3年第1回定例会において、野生鳥獣の保護についての質問をした際に、「県と協議して策定していきたい」とされた「行動マニュアル」作成の進捗状況について伺う。</p>	

質問者	通告 6 番 1 番 大石 舞 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町 長
質問事項	1 介護保険事業の改善について 2 マイナンバーカードのトラブル対応について	
要 旨	<p>1 来年度から、大井町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が開始される。2025 年、2040 年を視野に入れた重要な計画である。国では利用料 2 割・3 割負担の対象拡大等が議論され、制度改悪が懸念される。介護保険事業の改善を求める立場から、以下について伺う。</p> <p>(1) 介護サービスの充実について ア 特別養護老人ホーム待機状況は。 イ 軽費老人ホームの利用状況は。 ウ 在宅サービスの充実は。</p> <p>(2) 人員確保策について ア 介護職の資格取得支援制度の導入は。 イ 町の保健師を増員しては。 ウ 地域区分の格差について、国への要望は。</p> <p>(3) 介護保険料について、段階の細分化は。</p> <p>(4) 介護予防事業について ア 高齢者の多様な居場所づくりについて、考えは。 イ 要介護 1、2 を保険給付から外さないよう、国への要望は。</p> <p>2 任意取得だったはずのマイナンバーカードに保険証等の紐づけが強引に進められ、至る所で混乱が生まれている。トラブルへの対応方法等を町民に周知するため、以下について伺う。</p> <p>(1) カード未取得の場合、健康保険証はどうなるのか。また、短期証と資格証の扱いは。 (2) 暗証番号を忘れる等のトラブルの際、どう対応すべきか。</p>	

質問者	通告7番 2番 黒岩陣太郎 議員	通告時間 50分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 デジタル田園都市構想に対する町の対応状況について 2 教育現場においてICTの利活用について	
要旨	1 デジタル社会の実現に向けデジタル庁を始め各府省庁が構造改革や個別の取り組みについて示している。本町の今後の取組やデジタル化に向けた進捗状況について伺う。 (1) デジタル化に向け町が目指す姿は。 (2) DX推進チームの進捗状況は。 (3) 業務改善の状況は。 (4) 防災、減災や観光、住民サービスの向上の為、自治体によるWi-Fi整備と活用の考えは。 2 教育現場において現時点のICTの利活用について伺う。 (1) 1人1台タブレット端末の活用状況は。 (2) 課題や授業、家庭学習における利用状況は。 (3) 導入してからの変化や向上した点は。	

質問者	通告 8 番 1 3 番 伊藤奈穂子 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について 2 こども家庭庁創設に伴う子育て支援の拡充について	
要 旨	<p>1 文部科学省は、令和 5 年 3 月 31 日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していくとの「COCOLO プラン」を発表した。本町においても不登校支援の更なる充実が必要であると考える以下について伺う。</p> <p>(1) 不登校の子どもの保護者を支援していくことは重要であると考えているが見解は。</p> <p>(2) 校内教育支援センターの設置促進とともにオンライン指導やテスト等も受けられる体制を確立すべきだと考えるが現状と今後の取組は。</p> <p>(3) 多様な学びの場での学習成果を成績に反映することが重要だと考えるが見解は。</p> <p>(4) フリースクール等との連携強化や、多様な居場所の確保が必要だと考えるが見解は。</p> <p>2 令和 5 年 4 月に、こども施策の総合的な司令塔として「こども家庭庁」が創設され、年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的支援を実現するとある。少子化が進む現在、子育て支援の拡充は重要課題であると考えて以下について伺う。</p> <p>(1) こども家庭庁の創設により、本町の子ども施策に関する組織体制の強化は。</p> <p>(2) 産後ケアの家事育児支援事業として産後ドゥーラの訪問サービスを実施する考えは。</p> <p>(3) ヤングケアラーに対する支援策は。</p>	